

ワークショップ「2030」

高校生と大学生、社会人が7つのグループに分かれて一緒に、「2030年」に向けて様々な仕事や取組がどう「SDGs」実現に関与しているかを考えました。

ワークショップで話し合った内容は…

- ① 未来予測 こんな世界になっているだろう
- ② 私たちの作りたい未来
- ③ そのために、今こんな活動をしている



ファシリテーター：一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GIFT)専務理事 辰野まどか氏



成果：「私たちの作りたい未来」

～みんなのプレゼンボードより抜粋～

伝統的な農業が増えて、
農業が行いやすい環境を作りたい

全ての人
楽しい生活ができる未来

きれいな町きれいな海
きれいな日本

人間と野生動物の
共存

多くの人がお互いの
国の文化・価値観を尊重しあえる社会

魚を増やす！
海洋資源が豊かな海を作る

Smart Community
自然と人間と技術のバランス

キノコの多様性を伝え
豊かな森林にみんなが興味をもつ

ワークショップのご感想

環境大臣政務官 比嘉 奈津美 氏

みなさんのご意見を拝聴していて、短時間で話をまとめてプレゼンテーションが出来る能力、また省庁などで使うような専門的な用語をしっかりと理解し使っているボキャブラリーの多さに驚いております。

10年後、20年後は地球環境が悪化しているのでは？というネガティブな意見も聴きましたが、議論の結果、それぞれの高校生が「主語」、つまり取組の主体となって自ら頑張っていけば地球は守っていけるというポジティブな話に変わり、たいへん頼もしいと感じました。

今日の議論は、これからの持続可能な社会をみなさんが作っていくんだという大切な一場面であると同時に、高校生の青春の一場面ということでもあります。このワークショップで築いた横の繋がりが、みなさんの活動内容をいろいろな所へ発信する力にもなっていくと思います。

みなさんの活躍が日本だけではなく世界に共有できるものになっていくことは間違いありません。これからのみなさんの活躍に期待しています。

